

The Parks of Aomame

岡山芸術交流
Okayama Art Summit

2025



2025.9.26 Fri. - 11.24 Mon.



岡山芸術交流は、3年に1度、岡山城・岡山後楽園周辺エリアで開催する、街歩きしながら最先端の現代アートなどに会える国際現代美術展。4回目となる今回は、フランスの現代美術を代表するアーティストの一人であるフィリップ・パレーノがアーティスト・ディレクターを務め、村上春樹の小説『1Q84』に登場する謎めいたキャラクター「青豆」に触発された「青豆の公園」をタイトルとして開催します。

今回だけ
鑑賞料
無料



Photo © Ola Rindal

岡山芸術交流2025
アーティスト・ディレクター
フィリップ・パレーノ
Philippe Parreno

ステイトメント (抜粋)

「岡山芸術交流2025」は、岡山の都市空間を現実と想像が自然に交わる場へと変貌させる。

この壮大なプロジェクトは、岡山の公共空間、忘れられた場所、市民公園などを再構築し、驚きに満ちた地図を作り上げる。



会場マップ



開催概要

会 期：9月26日(金)～11月24日(休)

休 館 日：月曜日

(ただし、10月13日(祝)・11月3日(祝)・11月24日(休)
開館、10月14日(火)・11月4日(火)休館)

開催時間：9時～17時 (入館は16時30分まで)

※一部異なるため、詳細はホームページ参照。

会 場：旧内山下小学校 校庭・プール (北区丸の内一丁目)
岡山県天神山文化プラザ (北区天神町)
表町商店街 (北区表町三丁目)
岡山市内各所



●・■…展示会場 ※8月5日現在

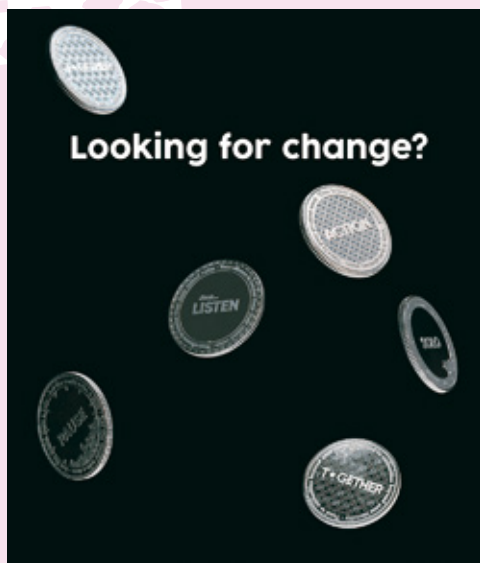
注目作品をひと足先に紹介します！

岡山芸術交流2025
Okayama Art Summit

ルイ・ヴィトンのアーティスティック・ディレクターを務めるニコラ・ジェスキエールや第144回芥川賞を受賞した小説家・朝吹真理子など、多様な分野から12カ国31組のゲストが参加する予定です。

その中でもぜひ見ていただきたい作品を4点紹介します。

岡山のまちが
アートの舞台に！



Ryan Gander's The Find is Commissioned by Factory International for Manchester International Festival

箱根にあるポーラ美術館で個展を開催中の
ライアン・ガンダー
《The Find》

街中の色々な場所に置かれる3種類のコインを鑑賞者が探して歩く、体験型の作品。見つけたコインは持ち帰ることができます。

場 市内各所



Membrane, 2024. Exhibition view: Fondation Beyeler, Basel
Photo © Andrea Rossetti

フランスの現代美術を代表するアーティストの一人である
フィリップ・パレーノ
《Membrane》

学習型のAIと複数のセンサーを搭載した、塔の形をした巨大な立体作品。

作品から発せられる「声」を俳優の石田ゆり子が担当します。

場 旧内山下小学校（北区丸の内一丁目）



声：石田ゆり子

※画像はイメージです



[EXPO 2025 大阪・関西万博] ©Sou Fujimoto Architects

EXPO 2025 大阪・関西万博のシンボル「大屋根リング」を設計した世界的建築家

藤本壮介

旧内山下小学校に設置するステージを新たに設計します。

場 旧内山下小学校（北区丸の内一丁目）



RAINBOW BUS LINES © James Chinlund

映画『ザ・バットマン』『猿の惑星：新世紀』などのプロダクションデザイナーでもあり数々のファッションショーデザインを手がける

ジェームズ・チンランド

《RAINBOW BUS LINES》

たくさんの光る路線バスが、岡山の街中を走る!?
見ても乗っても楽しめる作品です。

場 市内各所

普段乗っている
バスがアートに♪

